

ハードウェア製品の開発 -Development of Hardware Products-

省エネルギーおよび省資源を追求し、環境配慮製品の開発に努めています。

第8期環境行動計画への取り組み

エネルギー効率、資源効率向上を追求

第8期環境行動計画の中で製品開発は、2つの目標に取り組んでいます。1つは、エネルギー効率にすぐれた製品の開発であり、市場または従来製品とのベンチマークからトップレベルと認められる基準を製品分野別に定め、推進しています。

もう1つは、製品の省資源化を通じて環境要素にすぐれた製品の開発であり、これまでも3R設計を推進し省資源化に有効な技術を製品に展開してきましたが、さらなる小型・軽量・省スペース化など資源効率向上による環境負荷低減を推進しています。

これらにより、お客様の環境負荷を低減するとともに、市場製品との優位性／競争力を強化するものと考えます。

製品紹介

FUJITSU Retail Solution TeamCAT/mini (チームキャット・ミニ) V3



ショッピングセンターのテナント用マルチ端末で、コンパクトボディであるため場所を選ばず設置可能です。豊富な外部インターフェースや大容量メモリを搭載しながらも高性能CPU採用にて、消費電力を従来比（同処理）で約30%削減しています。軽量化にあたっては構成部品見直しなどにより、従来比約17%の軽量化を実現しています。

トータルゼータ端末『J8』



公営競技場向け端末で、1台で発売と払い戻しができ、柔軟な窓口運用を実現します。多くのユニットをもちながら制御ボードの見直しなどで、お客さまの操作がない場合の待機時消費電力を従来比で約15%削減しています。軽量化にあたっては、構造フレームの材料見直しなどで従来比約7%の軽量化を実現しています。

グリーン調達 -Green Procurement-

お客様に環境負荷の少ない製品・サービスを提供するために、お取引先とともにグリーン調達を推進しています。

グリーン調達基準に沿った調達活動

富士通グループでは、環境に配慮した部品・材料や製品の調達に関する基本的な考え方を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、国内外のお取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

含有化学物質管理システムの構築

製品の部材系調達にかかわるお取引先には、化学物質を適正に管理していただくためJAMP※1が業界標準として定める「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（CMS※2）の構築をお願いし、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を強化しています。

※1：JAMP／ア－ティクルマネジメント推進協会（Joint Article Management Promotion-consortium）

※2：CMS／製品含有化学物質管理システム（Chemical substances Management System）

含有化学物質情報の入手

法規制を順守し、含有規制物質による人の健康への悪影響や、環境汚染を未然に防止することを目的に、お取引先のご協力のもと、JAMPが提供するAIS※3やMSDSplus※4などにより製品の含有化学物質情報を調査し、入手した情報は社内システムにて共有しています。

なお、含有化学物質調査ツールの後継様式である、chemSHERPA※5へ2018年度から移行できるように準備を進め、予定どおり適用しました。

※3：AIS／成形品に含まれる化学物質情報伝達シート（Article Information Sheet）

※4：MSDSplus／化学物質調剤に含まれる化学物質情報を伝達するための情報伝達シート（Material Safety Data Sheet plus）

※5：chemSHERPA：製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム（Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chain）

「CO₂排出抑制／削減」への取り組み

地球温暖化などの気候変動問題への対応として、お取引先にもCO₂排出量削減に向けた取り組みをお願いしており、企業の地球温暖化問題へのかかわりから、活動の進め方などの情報を提供しています。